公益社団法人埼玉県理学療法士会

令和元年度　第6回理事会議事録

**1．開催日時**：令和元年12月17日（火）19：00～21:15

**2．会　　場**：大宮ソニックシティ706会議室

**3．理事現在数及び定足数**

理事現在数　16名　定足数　8名

**4．出席理事数**　16名

出席理事：南本浩之、岡持利亘、細井俊希、水田宗達、田口孝行、本宮光信、茄子川知浩、矢野秀典赤坂清和、原田慎一、阿久澤直樹、高宮尚之、櫻場勝、田澤俊亮

欠席理事：吉川貴矩

**5．監事現在数及び出席監事氏名**

監事現在数　2名

出席監事： 清宮清美、前園徹

**6．出席部長・エリア長・委員長**

塚田陽一、柳田千絵

**7．出席部員**

　　佐藤香、倉持陽太（書記）

**8．議長の氏名**

　　南本浩之

**9．議　　題**

＜計画内審議＞

○令和2年度事業計画について

＜計画外審議＞

〇【表彰委員会】令和元年度埼玉県理学療法士会表彰について

〇【組織検討委員会】第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会設立について

〇【組織検討委員会】埼玉県理学療法士会50周年記念式典準備委員会設立について

〇【選挙管理委員会】埼玉県理学療法士会選挙規程について

〇【埼玉県理学療法学会評議員会】学会サポート企業使用について

＜報告事項＞

〇【財務局】予算執行状況について

○サイボウズ審議

＜その他報告事項＞

○学校保健・特別支援教育に関するネットワーク構築に係る士会担当者の推薦について

〇【新分野開拓委員会】新規事業提案書と手続きの手順について

**10．理事会の議事の経過の要領及びその結果**

　（1）定足数の確認等

冒頭で議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

　（2）議案の審議状況及び議決結果等

＜計画内審議事項＞

○令和2年度各局事業計画について

南本：局長より各部の事業計画について、昨年度と事業内容・予算請求が大きくなったところ、理事に話を共有した方がいい部分については説明するようお願いしたい。

・事務局

水田事務局長より事業計画案に沿って説明があった。

平成31年度と大きな変更点はなし。庶務部の業務を一部管財資料部に移管する。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・財務局

本宮財務局長より事業計画案に沿って説明があった。

昨年はシステムの更新のために90万円程度予算を増額したが今年はなし。

その他平成31年度と大きな変更点はなし。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・事業局

茄子川事業局長より事業計画案に沿って説明があった。

高齢者福祉部の生活期リハ研修会が1回に減らして予算請求減少。ST士会からの研修会において予備費5000円追加で合計1万円へ変更。

小児福祉部では子供の福祉機器体験会を追加。

スポーツリハビリテーション推進部では、技術研修会は通年通り3回実施、スポーツ関係者のための研修会（一般向け）は無し。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・学術局

矢野学術局長より事業計画案に沿って説明があった。

平成31年度と大きな変更点はなし

南本：研究の補助金は増額で進んでいる。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・教育局

赤坂教育局長より事業計画案に沿って説明があった。

現生涯学習最終年。来年の認定試験が早まる。駆け込み受験もいるため研修会を8回に増やす予定

水田：指定管理者研修の参加人数を増やすためには？

赤坂：目新しい情報を提供できる講師の選定をする

岡持：案内の仕方を変更してはどうか？講師の選定について、日本中から優れていると感じる講師の選定については賛成。

赤坂：講師の提案があればご教示願いたい。

南本：教育局は生涯学習制度変更と臨床実習指導者に対する変更への業務が多忙。

　　　皆で協力していきたい。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・広報局

原田広報局長より事業計画案に沿って説明があった。

リーフレットの作成を追加。

水田：リーフレット作成についてもっと多くていいのではないか。いろんな事業で配布してほしい。

田口：どこで配るかによって部数が変わる。オープンキャンパスでも配れるようにすると部数が分かるのではないか。

南本：各ブロックで啓発事業を行っている。その時にも配れればいいのでは。

阿久澤：地域包括活動を行っている範囲は広い。そこでも使いたい。

原田：一般向けの事業をやると余ることがある。冊子を配るときに袋はないか？と質問されることがある。できたらリーフレットを入れる袋が欲しい。

原田：どのくらいの部数が必要かアンケートで確認する方向で。

細井：袋に関しては環境に配慮した袋を使用してほしい。エコバックやクリアファイル。

南本：理学療法週間推進部の理学療法フェスタの予算について、増額になっていた。

原田：去年ブロックで会場費を支払っているため、会場費と郵送費用の費用を受け持つ。

　　　講師・会場費用は消費税分が上がっている。

原田：呼びたい講師がいれば声掛けをお願いしたい。

櫻場：東部ブロックでレンジャーの衣装が古くて壊れている。

南本：子供たちから人気がある。買い替え検討も必要。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・職能局

阿久澤職能局長より事業計画案に沿って説明があった。

医療保険・介護保険部の3回研修予定。

連携強化事業については推進部から業務推進部へ移行。業務推進部では医療介護地域連携の業務ができるようする。そのため、復職支援・保険診療外向け研修会を実施していたが、保険診療外は新分野であるので事業から外している。復職分野は組織運営で扱ってもらいたい。そのため、業務推進部ではダイハツとの共同事業の交通関連、埼玉県警との事業を挙げている。

地域リハ相談窓口体制構築促進・市町村理学療法士会の構築促進は新規事業として実施。

水田：市町村理学療法士会の構築促進は各ブロックとの連携をどう進めるか？

阿久澤：地域包括ケアなど外に出る事業と共同。

高宮：市町村理学療法士会は定義を明確にしたい。ブロックは会員むけの発信が多い。

市町村理学療法士会地域に向けた事業。

岡持：内容は賛成。市町村理学療法士会をブロック連絡委員会に移したらどうか。

南本：会員と地域の市町村ネットワークの構築が必要。市町村ネットワークは地域との2年くらいかけて構築が必要。まずは実態調査をしていく。

田口：ネットワークとは？ネットワークはどういったとこを目指すのか？いろんな事業をつなげて見える化したい。

南本：ブロック連絡委員会との連携も必要になってくる。

阿久澤：市町村理学療法士会をブロック連絡委員会に移行する。2番も同じような話だか？

南本：地域はリハビリの相談をするところが少ないと相談される。

　　　ブロックとブロック連絡委員会との共同するという形の文言が入った方がいいかもしれない。

田口：地域包括ケア推進部でもいいと思う。研修はやってるけど情報交換会はない。

阿久澤：地域包括ケア推進部の医療・介護・地域の連携の部分を業務推進部へ委託したい。

　　　　地域リハ相談窓口体制構築では地域リハビリテーションサポートセンターとの会議をやる。

南本：たとえば地域のケアマネから相談するところがない。そういった相談ができる事業にするのが理想的。

岡持：どこから連絡きてもいいと考えると2番はあっても問題ない。

阿久澤：新規にはなるので手探り。1年間は構築にしていく。

水田：外した事業をどこに持っていくか？考えないといけない。

阿久沢：職能局で扱うのは難しい。

水田：前回の拡大理事会で事務局への一部移管も検討されているようだが手いっぱいな部分もあるので話し合う必要はある。

南本：特別な部署がないのは埼玉だけ。これをきっかけに組織検討委員会で検討。

清宮：埼玉は活動してないわけではない。報告は上がっています。位置づけだけしっかりする。

審議の結果、業務推進部の3はブロック連絡委員会に移管、その他は原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・東部ブロック

櫻場ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

予算の組み方変更。事業内容は同じ。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・西部ブロック

吉川西部ブロック理事不在。代理で岡持副会長から報告。大きな変更はなし。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・南部ブロック

高宮南部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

平成31年度と大きな変更点はなし。

阿久澤：表記の仕方の統一はした方がいいのでは？

水田：令和で統一する。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

・北部ブロック

田澤北部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

熊谷エリアは研修会1回増えています。その分予算が増額している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

　 ・各委員会ついて

財政基盤委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

表彰委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

組織検討委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

ブロック連絡委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

職能倫理委員会

赤坂：大学の倫理委員会は弁護士もいる。そういった人たちの意見も取り入れられるように

水田：検討します。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

運営基盤委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

10年後の理学療法を考える委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

選挙管理委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

埼玉県理学療法学会評議員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

第29回埼玉県理学療法学会準備委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

第30回埼玉県理学療法学会準備委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

がんリハビリテーション推進委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

訪問リハビリテーション振興委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

国際スポーツ競技対策委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

新分野開拓委員会

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

＜計画外審議事項＞

〇【表彰委員会】令和元年度埼玉県理学療法協会表彰について

資料に基づき南本会長より説明があった。

今期は國澤洋介氏、加藤研太郎氏、原嶋創氏3名が表彰対象として推薦された。

南本：部長歴を考慮して推薦していく。A任期（理事・代議員）、B任期（部長・委員長など）足して推薦していく。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

〇【組織検討委員会】第41回関東甲信越ブロック理学療法学会準備委員会について

資料に基づき南本会長より説明があった。

準備委員会委委員長を水田副会長、学会長を南本会長、副学会長を岡持副会長、田口副会長とした。会場については場所や規模を含め検討していく

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

〇【組織検討委員会】埼玉県理学療法士協会創立50周年記念式典委員会設立について

資料に基づき南本会長より説明があった。

南本：2021年で実施は難しい。2022年で式典をしていく予定。事業予算を検討中。市民公開講座を含め、式典・祝賀会を考えている。第41回関東甲信越ブロック理学療法学会に合わせて記念式典も準備委員会を設立したい。準備委員長は塚田委員長の予定。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

〇【選挙管理委員会】埼玉県理学療法士会選挙規定について

資料の基づき水田副会長より説明があった。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

〇【埼玉県理学療法学会評議員会】学会サポート企業使用について

資料に基づき矢野学会評議員長より説明があった。

矢野：学会サービスを使うと金額がかなり高くなるがどうか？

田口：高いので交渉が必要。

赤坂：積極的にサービスを利用していってもいい。使わないとスタッフのマンパワーが足りなくなる。必要なものとそうでないものを整理して金額を交渉してほしい。

南本：委託業者を使っていく方針。金額はやはり交渉。

審議の結果、学会サポート会社は利用していく方針、金額については検討していくことで、出席理事全会一致で承認された。

＜報告事項＞

〇【財務局】令和元年度予算の執行状況

資料に基づき本宮財務局長より説明があった。

本宮：予算執行状況の確認。現時点で持っている手持ち現金と通帳残高を報告してほしい。後日LINEWORKSで報告を各局お願いします。

南本：プラス収支は避けたい。事業予測で使う予定の資金を報告してほしい。各局・部で報告を協力お願いします。

〇LINEWORKS審議

資料に基づき南本会長より報告があった。

＜その他報告事項＞

〇認定・専門理学療法士制度の追加について

田口：協会の方から認定・専門理学療法士制度の情報が追加された。パブリックコメントが延長された　ため活用してください。新人教育プログラムの終了率は60％ほど。

〇学校保健特別支援教育に関するネットワーク構築に係る士会担当者の推薦について

水田：担当者が決まっていない状態。誰か適した方をご存じないか。

細井：適任と思われる方がいるので連絡をしてみる。小児福祉部についても私から連絡してみる。

〇【新分野開拓委員会】糖尿病対策委員会の事業対策案について報告あり。6名の立候補があった。

新規委員会立ち上げまでの手順、新規事業の提案書の確認をお願いします。

以上をもって議案の審議等を終了したので、21時15分、議長は閉会を宣し、解散した。

　　　この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長　　　　　　　　　　印

監事　　　　　　　　　　印

監事　　　　　　　　　　印